

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和4年2月20日

事業所名: 放課後等デイサービスマーガレット2

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 基準を満たしたスペースが確保されている。 | 児童が安全に更衣や勉強などの活動を行えるスペースの確保と、状況に応じて対応していきたい。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 職員がやむを得ない急な休みなどにも対応できるよう、基準以上に職員配置を行っている。 | 看護師、元学校教諭、保育士、介護福祉士、精神保健福祉士と言った多職種が在籍している。毎日の職員も基準以上に配置されており現状を維持していきたいと考える。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 玄関・トイレ等に手すりが設置されており、配慮していると思う。 | 一軒家の借家であるため、完全なバリアフリーは難しいが、児童の成長に合わせて、適切に設備の見直しを行ってきたい。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 毎日、時間を決めてその日のスタッフが全員参加できる時間を設けている。 | 職員がアイデアを持ち寄り、みんなで評価、振り返りができる時間を継続して確保していきたい。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 保護者全員にアンケートを配布し、意見を反映できるよう把握している。 | アンケート調査以外にも連絡帳やライン、面談等を利用して、保護者からの意向を伝えやすい環境をと心掛けている。また業務改善に繋がったことは、保護者に返すようにしている。アンケート調査は全員の回収が難しく、色々な方法を模索していきたい。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 法人のホームページに公開している。 | ホームページの掲示以外に、保護者に報告を行っていく。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | コロナ感染防止のため、第三者委員に來所しても外部評価は自粛した。 | 第三者による外部評価を定期的な受け、業務改善につなげていく。 |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | コロナ感染症拡大防止のため研修の機会が少ないながらも可能な限り参加しているスタッフもいた。 | コロナ感染拡大予防のため外部からの研修が少なくなっている。職員の資質向上のため、また振り返りの機会として事業所内の研修等設けていきたいと考える。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 職員全員でアセスメントを行っている。 | アセスメントツールの活用や、担当者会議など関連事業所との情報交換をしながら、多面的に計画を作成していく。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 6ヶ月、1年とアセスメントを行っている。 | 今後も継続して適切な支援を行えるように、標準化された現在使用しているアセスメントツールを使用し、状況確認等支援に活かしていく。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 各専門職のスタッフで決めている。 | 子どもの成長に合わせた遊びができるよう、職員で話し合い、プログラムを考えている。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 新しいスタッフの経験や資格を活かして新たにリズム・英語・手話等のレクレーションを導入できた。 ・季節や天候いろんな児童に考慮しながら工夫している。 | ブドウ狩りやさつまいも掘りなど、自然の中で季節を感じながら体験できる遊びを今後も取り入れていきたい。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 長期休み、土曜日に合わせて行っている。 | 放課後等デイサービス計画に記載し、支援している。利用する子どもも一緒に考えられるような課題を考え、支援していきたい。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | ボタンの着脱のできない児童には遊びながら練習できるようなものを作成していた。 | アセスメントツールを使用し、ADLの向上や集団に合わせた活動を考え、作成している。 |
| | 15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | できている。 | 急な変更等にも対応できている。今後も職員間で声を掛け合い、支援していきたい。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | その日のうちに確認が取れるよう時間を設定している。 | スタッフ間で声をかけ、話ができている。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | | 個別のカルテを用意し、SOAPで記録を取っている。記録だけで終わらず、支援前に前回の様子など職員ミーティングで共有している。 |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | | 定期的にモニタリング時期には保護者と日程を合わせて面談しており、計画の見直しを行っている。相談支援員とも連携を深め、情報共有に努めていきたい。 | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | ○ | | | | ガイドラインについて職員も把握し支援行っているが努力が必要である | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|---------------|--------------------------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携関係 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | | サービス担当者会議には出席できるようシフト調整や場所の提供を行い参加している |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | | 養護学校については、送迎時など学校から申し送りがあり、密な情報交換を行い、長期休暇中に施設訪問をうけて情報交換や評価を行うことができた |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | かかりつけ医等の把握は常に行っている。情報共有や連絡体制を強化していけたらいいと思う。 | 協力医師との連携、かかりつけ医の把握は常に行い、緊急時の対応マニュアルに沿って行動できるよう日頃から声かけしている。今後も継続していく |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | | 連携に今後も努めていく |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | 情報提供するよう努力しており、今後も継続していく |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | 現在、連携する機会がほぼなく、機会があれば積極的に利用していきたい。 |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 子ども食堂など機会があれば参加している。(今年度はコロナで参加出来ず) | 今年度は、コロナ感染予防のため、接触を控えている。今までは子ども食堂やふれあい館の行事等に参加していたため、状況に応じて参加していきたい。 |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 今年度は開催の案内もありませんでした。 | 案内を受けた時は参加していきたい。 |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 送迎時や、連絡帳、line、面談等で保護者との情報共有に取り組んでいる。 | 毎日の職員ミーティングにて課題を抽出し、スタッフ全員で情報共有し、送迎時等で保護者と話す際に、共通理解を図っていく。保護者など情報交換の場の提供や時間の確保に努めていく。 |
| 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | 保護者から相談を受けた時は、適切に対処している。 | ペアレントトレーニングの支援の意識をもって支援を行っていききたい。また研修等受け、理解を深めて、保護者の対応力の向上を図っていききたい。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | | 支援の内容については、見学時に活動内容のDVDを観ていただいたり、実際に体験してもらったりしている。また運営規程や利用者負担等については、契約時に担当が保護者に文書で説明し、事業所と保護者で1部ずつサインしたものを保管している。法改正による利用者負担額の変更等があった場合は、その都度報告できるようにしていきたい。 |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 訪問・来所等保護者の希望に応じて支援している。 | 連絡帳や電子ツール、電話、来所等、保護者にあった方法を考え、適切に対応している。相談を受けた時は早めの対応を行っている。また、ミーティング等で職員全員で話し合えるよう、支援体制づくりに努めていく。 |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | コロナ感染拡大防止の為開催が難しかった | 年2回保護者会を行っている。今年度はコロナの影響で開催を見送ったが、今後はオンライン等、保護者と意見も伺いつつ、開催を考えていきたい。 |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | | 苦情相談の研修を受けた職員が受付担当となり責任者に報告している。事業所に案内や掲示や意見箱や、第三者委員の設置を行っている。マニュアルに沿って、適切に対処できるよう心掛けていきたい。 |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | | 年2回の会報ができるよう、また電子ツールを使った方法などを利用し、発信できるようにしていきたい。 |
| | 35 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 施錠あり | 個人情報保護の研修を受けている。また契約時に保護者に個人情報の説明を行い、確認と同意を得ている。情報には管理者が施錠管理を行っている。 |
| | 36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 聴覚障がいのある方のために、手話通訳者が在籍している。 | 子どもに伝わりやすい方法については、保護者から直接伺い、職員が共通して取り組めるよう配慮している。 |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | | ・クリスマス会等外部の方を呼び交流しているが、地域イベント等参加できる事への取り組みを増やしていけたらいいと思う。 ・クリスマス会や夏休みの行事(陶芸、木工作成など)には地域の方からの支援が受けられているため、今後も可能な限り継続していきたい。 |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|----|---------------|-----|--|--|
| 非常時等の対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | | 事故緊急時対応マニュアル、感染症予防マニュアルがあり対応している。嘔吐時の対応を掲示し、周知を行い、保護者会で周知している。防犯講話を交番に依頼し不審者侵入の際の対応について周知している。 |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 年1回防犯・防災の避難訓練を行っている。 | 非常災害時対応マニュアルを作成し、消防署の協力の下2回/年災害訓練を行っている。 |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | | 毎年、虐待防止の研修に、代表の職員が参加しており、マニュアルに沿って適切に対応していきたい。 |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | | 現在、当事業所には対象者がいないが、身体拘束の必要性については、子ども、保護者と十分に話し合った上で、マニュアルに沿って適切に対応していきたい。 |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | | 利用開始前に、看護師が保護者に聞き取りを行っており、そこで必ず食物アレルギーの確認を取り、職員全員が把握している。おやつ提供時やお弁当購入時に職員が確認している。 |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | インシデントは作成し、職員で把握している。鹿児島市役所にも適宜報告を書類にて行っている。 | 職員ミーティングや終礼時に、ヒヤリハットになりそうな状況を報告し、情報を共有できている。文書化までできていないので、今後考えていきたい。 |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。